

北海道浮魚ニュース

平成 12 (2000) 年度 4号 (通巻 No.74)

2000 年 7 月 7 日

北海道立中央水産試験場 Tel 0135-23-8707 Fax 0135-23-8709
 釧路水産試験場 Tel 0154-23-6221 Fax 0154-23-6225
 函館水産試験場 Tel 0138-57-5998 Fax 0138-57-5991
 稚内水産試験場 Tel 0162-32-7177 Fax 0162-32-7171
 網走水産試験場 Tel 0152-43-4591 Fax 0152-43-4593

道南～道央日本海スルメイカ調査結果 (おやしお丸 :6月 27～7月 5日の調査)

スルメイカは沿岸寄りで高密度、大きさのばらつき大きい

スルメイカの分布密度と大きさ

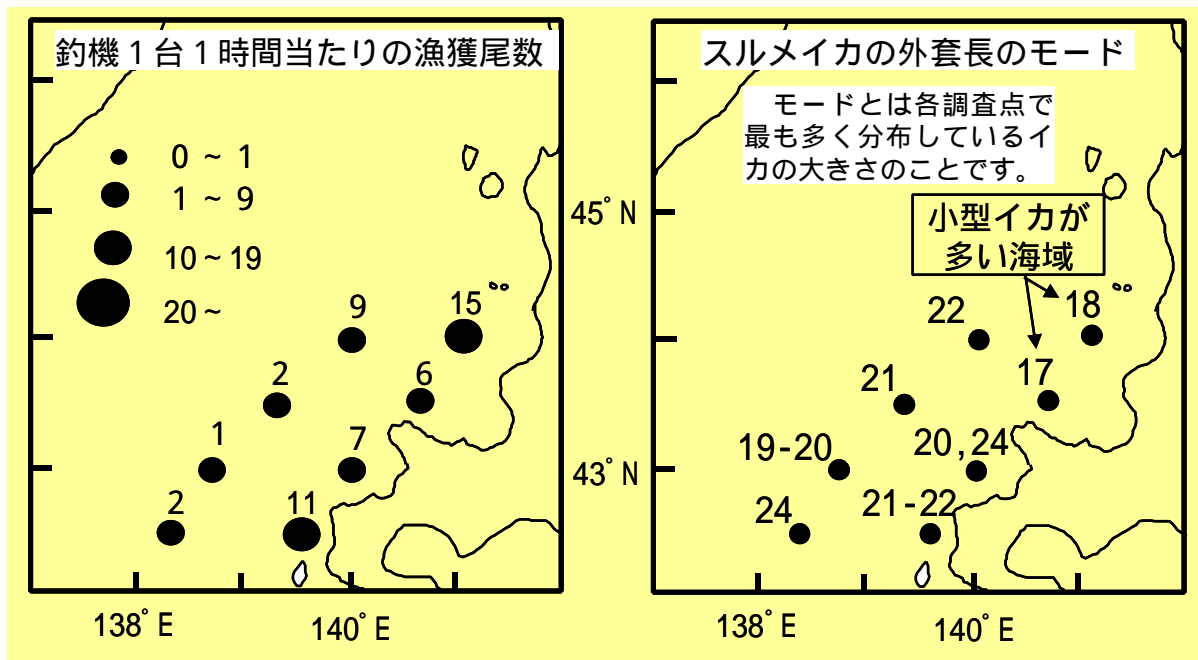


図 1 道西日本海におけるスルメイカの分布密度と大きさ

スルメイカの分布密度 (CPUE : 自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 1~15 でした (図 1 左図)。留萌や瀬棚の沿岸寄りで分布密度が高く、沖合は前年同様に低密度でした。

調査海域全体の分布密度を示す平均 CPUE は 7 で、前年を下回りました。(図 2)。

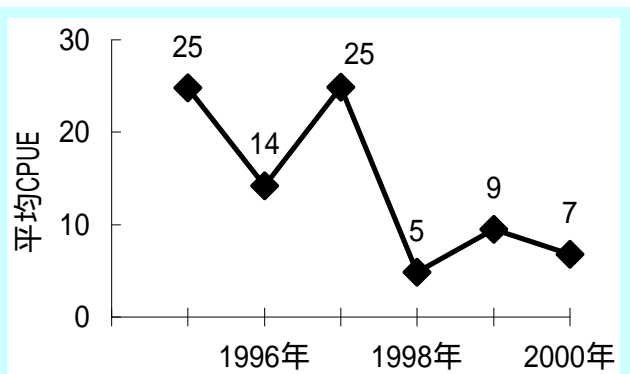


図 2 平均 CPUE の経年変化

スルメイカの大きさは、調査海域によって異なっていました。調査海域の北東では前年並みの外套長 17-18cm の小型個体が多く、その他の海域では外套長 21-22cm の大型個体が多く分布していました。(図 1右図, 図 3)。

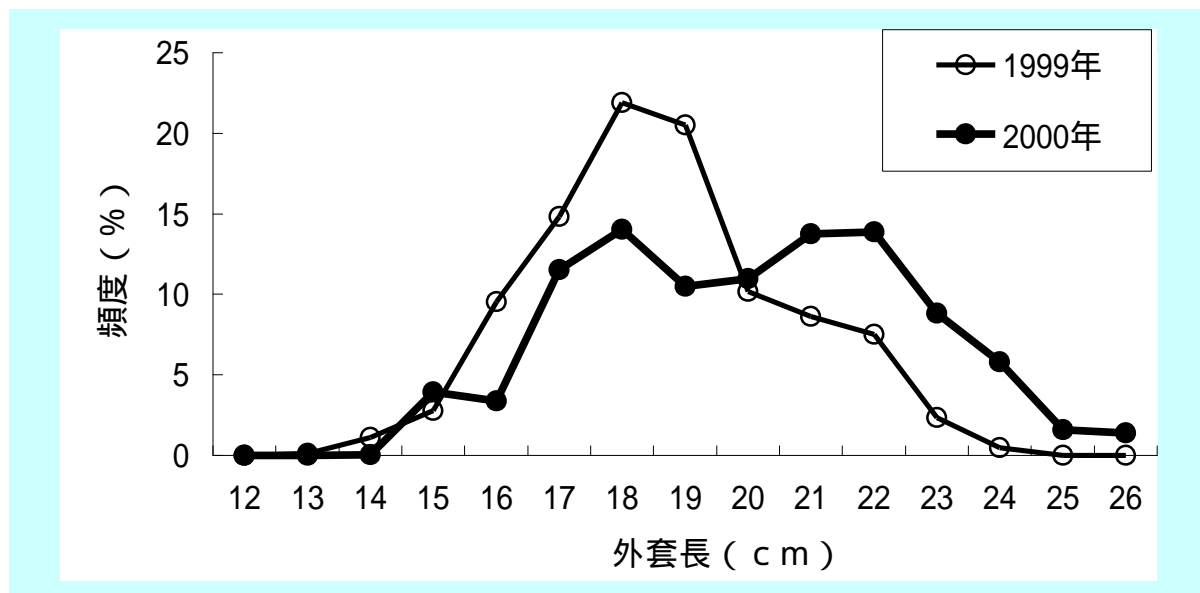


図 3 調査海域全体の外套長組成

水温分布

調査海域の 50m 深水温は、前年同様 3~12 台でした(図 4)。積丹半島沖に暖水域(12)がありました。

標識放流

図 4に示した場所で、標識放流を行いました(表 1)。標識イカを見つけた方は最寄りの水産試験場までお知らせください。記念品を差し上げております。

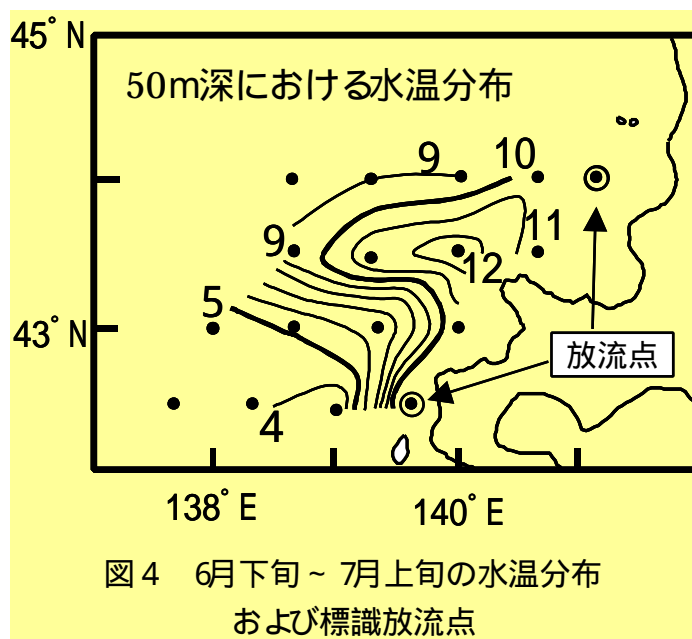


表 1 スルメイカ標識放流状況

放流月日	放流場所	標識の色 番号	放流尾数
6月29日	42°32'N、139°35'E	黄色 JPN 470～473	387
7月4日	44°00'N、141°13'E	黄色 JPN 474～479	555

今回の調査は「日本海スルメイカ漁場一斉調査」の一環として実施しました。全船の調査終了後、漁況予報が発表されます。

(文責:中央水試 資源管理部)